

「街なかロボットタワー」を開発

概要

早稲田大学 WABOT-HOUSE 研究所（所長：菅野重樹早稲田大学教授）において、橋本周司研究員のグループが「街なかロボットタワー」の開発を進めてきましたが、この度そのお披露目を行います。

詳細

岐阜県と早稲田大学との協定により設置された早稲田大学 WABOT-HOUSE 研究所では、ロボット技術の最先端研究と岐阜におけるロボット技術による新産業創出を目指し、様々なロボット技術の開発を進めています。

この度技術公開をする「街なかロボットタワー」はロボットが街中で活動するための基盤技術の開発を行ったものです。人とロボットが安全に共生するためにはロボット自身の機能の向上だけでなく、周囲環境からロボットの活動を支援することが重要であり、「街なかロボットタワー」はそのロボットの基地局、インフラとして機能するものです。

この技術によりロボットの行動支援を行うことでロボットの周囲で活動する人間に対しても一層の安全性を確保することが出来るようになります。さらに街中にこのようなロボットの活動拠点を置くことで充電・保守などの基盤を確保すると共に、ロボットの人間生活や社会への普及を促進出来るものと考えています。

当日は開発グループの橋本周司研究員（早稲田大学理工学術院長）や富永将史客員講師らによる解説とロボットタワー実物の報道機関向け公開を行います。

「街なかロボットタワー 報道機関向け技術公開」

日 時 平成19年8月22日（水） 10:30～12:00

会 場 岐阜県ロボットプラザ（各務原市須衛町4-179-50）

展示詳細等は別紙参照、最終ページに会場地図掲載

連絡先

担当：大田、小笠原、富永

電話：058-379-2223 メールアドレス：wabot-house@list.waseda.jp

研究所 HP：<http://www.wabot-house.org/>

#なお当研究所は14日～16日まで夏季休業となります。

街なかロボットタワー 報道機関向け技術公開要領

記

1. 挨拶 研究所2F会議室（予定）
2. 「街なかロボットタワー」概要説明 同上
3. 実機見学およびデモ 研究所駐車場
4. 質疑応答 （現地にて）
5. 終了

概要

「街なかロボットタワー」により、人々の生活環境で、ともに活動するロボットを支援します。またそれにより、ロボットを人により身近なものとする手助けをします。



「街なかロボットタワーの可能性」



「街なかロボットタワー 外観」

製作したタワー本体の高さは約4メートル、直径2.1メートル。土台や支柱は分割して運搬ができるため、街なかへ運んで簡単に設置することが可能です。

広い範囲を見ることのできるカメラで、ロボットとその周囲で生活する人々を見守ります。上部に供えたソーラーパネルや外部からの電力により、タワーに備えたLED電灯、カメラ、通信設備その他機器および、周囲で活動するロボットへの電力供給をいたします。

この街なかロボットタワーにより、ロボット技術の社会化を目指し、人々とロボットが触れ合う場づくりをしていきます。